

令和4年度企業会計決算概要について

日頃から企業局の各事業の円滑な推進に格別のご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

それでは、令和4年度水道、下水道、ガス事業会計の決算概要について説明いたします。

令和4年度大津市公営企業会計決算書の17ページをお願いいたします。

まず、令和4年度水道事業会計の決算概要です。

令和4年度の水道事業は、湖都大津・新水道ビジョン・重点実行計画に基づき、浄水場の施設整備や老朽化した送・配水管の布設替え、浄水場間を結ぶ送水管の整備などを実施しており、令和4年12月には約6年間にわたり実施した柳が崎浄水場整備改良工事が完了しました。

経営面では、家庭用や工場用などの有収水量が前年度より減少したことに伴い、給水収益が減少し、電力費をはじめ維持管理費などの経費も増加したことから、純利益は前年度より減少し、9億8,100万円となりました。

給水戸数は増加しているものの、年々、一戸あたりの有収水量は減少しており、今後における水需要の増加は期待できません。一方で、浄

水場など大規模な施設整備や更新等による費用の増加が見込まれることから、厳しい経営状況が続くものと予測されます。

このような状況下ではありますが、引き続き老朽化した施設の更新や地震対策など、より一層効率的な事業推進に取り組み、お客様サービスの向上と、水道事業者の使命である安全で安定した水道水の供給に努めてまいります。

決算書の69ページをお願いいたします。

次に、令和4年度下水道事業会計の決算概要です。

令和4年度の下水道事業は、大津市下水道事業中長期経営計画に基づき、生活環境の改善や安全性の向上、水環境の保全などの直面する諸課題に対応するほか、下水道施設の維持管理及び改築更新を効率的に推進すべく、管渠整備や施設の改築更新、地震対策などに取り組みました。

また、供用開始から50年を経過した終末処理場については、本年度から6期約31年に及ぶ再構築事業に取り組み、本年度は第0期工事として旧汚泥処理棟の解体工事に着手しています。

経営面では、使用料収入の増加や企業債支払利息の減少などにより純利益を計上していますが、純利益は前年度より減少し、16億7,900万円となりました。

下水道事業においても、水道事業と同様、今後の使用料収入の大幅な増加は期待できない一方、終末処理場の再構築事業や管渠の改築更新などの資金需要が見込まれます。

このような中、無届排水調査の実施など適正で公平な使用料徴収に努めつつ、更なるお客様サービスの向上や経営の効率化を図るとともに、生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全の役割を果たすよう、努めてまいります。

決算書の123ページをお願いいたします。

最後に、令和4年度ガス事業会計の決算概要です。

令和4年度のガス事業は、大津市ガス事業中長期経営計画に基づき、ガス導管網の整備や供給申請に伴う導管整備などを実施し、経年管布設替等の改良工事、需要家設備の安全点検などの保安対策に取り組みました。

経営面では、主に家庭用や工業用のガス需要が大きく減少したことから、託送供給収益も減少し、純利益は前年度より減少し、4億8,000万円となりました。

ガス事業につきましては、今後もより多くのお客様に快適な都市ガスをお使いいただけるよう、ガス小売り等の業務状況について運営権者に対する適正なモニタリングの実施を継続し、計画的な導管整備や

災害対策など、安全、安心で安定したガスの供給に引き続き取り組んでまいります。

令和4年度は、3事業とも純利益を計上することができましたが、原料高などによる企業活動に与える影響が懸念され、今後の需要は見通し難い状況が続く一方、施設の改築更新や老朽化対策、維持管理など経費の増加が見込まれます。

今後ますます厳しい経営状況になるものと予測されますが、これからも、お客様サービスの向上と健全経営の維持に努めてまいります。

以上をもちまして、所管する議案の総括説明といたします。